地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

（１）　このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。

（２）　このデジタルアーカイブの利用に際しては「東京大学経済学図書館電子資料利用規則」に同意したものとみなされます。

（３）　印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。

（４）　画像は白黒です。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。

（５）　本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。

（６）　本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 15HP8021 の交付を受けて作成しています。

①

一、概論、野村、

一、電力需給関係 野村

二、鉄鋼需給関係 同村

三、原料取得、

製鋼法

第一案

イ、平炉、線内精錬総合法 五〇〇、〇〇〇瓲

ロ、トーマス単独法 五〇〇、〇〇〇

第二案

イ、トーマス単独法 五〇〇、〇〇〇

ロ、ベセマー、平炉総合法 五〇〇、〇〇〇

× 第三案

イ、平炉、線外精錬総合法 五〇〇、〇〇〇

ロ、ベセマー、平炉総合法 五〇〇、〇〇〇

日本製鐵株式會社

日本標準規格 B5 (182×257mm) 17.8—50.0 東東1047

東京大学経済学図書館所蔵 野本氏旧蔵日本製鉄関係資料 5507492782

× 第四案

イ、トーマス専特法　五〇〇〇〇〇〇、

ロ、トーマス、岸特会社法　五〇〇〇〇〇〇、

一、製銑作業上一〇屯位ノ冷銑ガ出来テモ之ヲ処理ニ困ル　ロ、ノ岸特ニ大シテカ

一、トーマス滓ノ処理ニ困ル

一、ロ、ニ於テハ肥料トシテ期待薄シ

(1)専科ノ研修、(2)生産技術、(3)特殊鋼材ノ研究、

(1)海外ハ営的ニ期待出来ズ　トーマス法ニ十分ハ限ニハ資源

ハ拙ク少ナトヲ

我鉱産ノモノハ不便ナリ

南方ニヤハリノモノ調査ヲ早急ニ進メル要アリ

二〇〇万トノ燐鉱石ノ海上長距離輸送ハ非常ナリ

ヲナサ要スルカ

②「トーマス銑ノ特殊ニ合致セザルノ一〇屯位出来ル

③

之ヲ如何ニトリ上ゲルカ　然シ結局ハ積極的ニ

第五案　トーマス法ヲ全面的ニ否認シナイデ改メテ相談ス

且ツ以テ一、更ニ特殊会社法ハ八幡以外ニ於ケル経営者ナシ

夫々技術者ハトーマスノ少数ノ之ニ於テハ経験ナシ

助メテノ試ミニハ講ズベシ

手ニ採算ノ上ヨリ製鋼法トシテ未ダ採用スルニ非ザル　華人ノ作業ヲ以テ第一義

第一ノ要点ハ、迅速、確実ニ右記ノ能力ニ達スルニ存ス

トーマスハ結局如何ナルベキ

一、燐鉱問題

一、増設、

一、運搬費

一、燐鉱ノ統制ガ十分出来ルカ、

一、技術ノ修得、

一、製銑作業ハ最モ銑ノ処分ニ影響セシメナイ事

日本製鐵株式會社

一、燃料　轉炉
一、増産　轉炉
一、建設費　轉炉
一、技術上ノ問題
一、作業上、　平炉
一、鋼質　平炉、　合併炉、
一、スクラップノ処理　平炉
一、原料鉱石
一、労力　轉炉
一、電力
×一、肥料　トーマス

0000 1095

北支製鉄ニ於ケル銑鋼一貫設備計画ニ就テ

一、所要設備計画

(一) 生産スベキ鋼材ノ品種及数量ノ決定

北支、（天津）ニ於ケル将来ノ鋼材種別需要量ノ

推定

二、製鋼設備計画

× (一) 鋼材ノ品種（予定）

(二) 製銑及製鋼方針

(三) 燃料ノ需給関係　石炭熱源ノ補足

(四) 所要資材

(五) 建設費

(六) 生産費　収支採算

(七) 生産技術（製銑及製鋼作業）

× (八) 鋼材ノ需要

輸送ノ問題

日本製鐵株式會社

東京大学経済学図書館所蔵 野本氏旧蔵日本製鉄関係資料 5507492782

(八)
(九) 製鋼株式会社、設立、並内容ノ決定

参考資料

一、鋼其ノ他原料需要決定ニ対スルモノ

(一) 昭和十二年ニ於ケル北支鋼材供給所要高

(二) 昭和十三年以降鋼材輸入予測

(三) 大正元年来本邦(内地)鋼材需要高

(四) 銑鋼統制策ニ於ケル既定設備計画

(五) 北支製鉄所建設設備計画概要

(六) 北支製鉄、銑鋼一貫設備計画概要
建設費、生産費概算

七五〇、〇〇〇瓲 需要予想
大形 二八〇、〇〇〇
内全鋼板 二三〇、〇〇〇
中形 一四〇、〇〇〇
鋼板類 六〇、〇〇〇
小形 一二五、〇〇〇
亜中板 一三〇、〇〇〇
薄板 一〇〇、〇〇〇
鋼索 七五、〇〇〇
鋼管 四〇、〇〇〇
分解 一五、〇〇〇

〇 大形 280
〇 中形 180
〇 小形 125 + 鋼材 7.5 = 132.5
〇 亜中板 130
薄板 10
新枝 7.5
鋼索 40
鋼管 15
〇 分解
742.5

北支ニ於ケル鋼材種別需要高ノ推定

北支（又ハ支那）ニ於ケル将来ノ鋼材種別需要高ノ推定ニ対スル基礎資料不充分ナルニ依ッテ一応左記諸事情ヲ綜合シテ之ヲ推定スルコトトス

一、昭和十二年五箇年計画ニ依ル北支鋼材種別需要高ハ別紙ノ通リニシテ総額約十五万瓲ニシテ鋼板類ハ凡ソ二分ノ一ニ当リ比較的需要旺盛ニシテ将来益々煙管向ハ継続ヲ発展セラルルモノハ次ノ品種ナリ（省略）

一、昭和十二年五箇年計画ニ依ル鋼材ノ需要高ハ日満支ニ於ケル鋼材ノ綜合的需給関係ヨリ大ナル影響ヲ受クル大綱ヲ認識シ綜合シテ各生産部門ニ於ケル需要ハ倍ニ四十万瓲ニ達スル理由ナリ

13 14 15 16 17 18 19 20 21
45 50 55 60 65 70 80 90 100

22 23 24
110 120 130

一、昭和十三年度ノ全丈鋼材需要ハ約四十五万

瓲ニシテ日支事変ノ勃発ニ依リ特殊ノ情勢トナリ

ヤハ 女需要ヲ阻止スル 一定量

年需給ハ年ヲ一〇%トスルモ昭和十七年度ハ六五万

瓲ニ建設ニ要スル [illegible]

瓲ハ [illegible] 五万トン

十ノ計画ノ事情ヲ解決スレバ昭和 [illegible] ノ需要

日本製鐵株式會社